

2026 年 9 月 1 日

報道関係者各位

釜石市
株式会社かまいし DMC
日鉄興和不動産株式会社
株式会社オカムラ

＜釜石市・株式会社かまいし DMC・日鉄興和不動産株式会社・株式会社オカムラ 4 者共同プロジェクト＞
岩手県釜石市「NEMARU PORT（ねまるポート）」が
第 39 回日経ニューオフィス賞「サード・ワークプレイス推進賞」を受賞

岩手県釜石市（市長：小野 共）、株式会社かまいし DMC（本社：岩手県釜石市、代表取締役：河東 英宜）、日鉄興和不動産株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：三輪 正浩）、株式会社オカムラ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役 社長執行役員：中村 雅行）の共同プロジェクト「NEMARU PORT（ねまるポート）」が、第 39 回日経ニューオフィス賞における「サード・ワークプレイス推進賞」を受賞しました。

日経ニューオフィス賞は、日本経済新聞社と一般社団法人ニューオフィス推進協会（NOPA）の主催により 1988 年から毎年実施されている事業です。「ニューオフィス」づくりの普及・促進を図ることを目的とし、創意と工夫を凝らしたオフィスを表彰しています。「サード・ワークプレイス部門」は、近年のシェアオフィスやコワーキングスペースの活用が進む中で昨年度から新たに設けられた部門です。



海・山・町に近く、釜石市内のさまざまな場所で行われる研修プログラムのハブとなる



自然採光や薪ストーブの熱を利用した空気循環等、環境行動を促進する仕組みが随所に施されている

「NEMARU PORT（ねまるポート）」は、釜石市がオープンシティ戦略の一環として取り組む「釜石オープン・フィールド・ラボ」を推進するコア施設として 2025 年 8 月 1 日に開設されました。今後も、地域内外のさまざまな人々を受け入れ、釜石ならではの学びを提供し、多様な働き方を実践することで、釜石市の地域課題解決につながる共創のうねりを生み出し、持続可能な地域づくりに取り組んでいきます。

■施設の特徴

「NEMARU PORT」は、「ねまるのワッカ」というコンセプトで空間を構成。1 階から 2 階までをスロープでつなげたユニバーサルデザインにより、利用者同士の自然な交流を促進し、プログラムの学びを最大化するよう設計しました。ここでの研修を通して、参加者の環境に対する長期的な意識を変えていくための仕掛けを随所に施しています。その学びを日常へ持ち帰り、環境意識に目覚めるきっかけを与えてくれる場所です。

特徴その 1：体験・交流・学びを最大化する“学びのハブ”

「NEMARU PORT」は、釜石の市街中心部に位置し、海や山、そして街のさまざまな施設へのアクセスが良好です。研修プログラムの現場はもちろん、地元の飲食・文化スポットへも、参加者をシームレスにつなぐハブとして機能します。建物はコモンパティオ（共用の中庭）を囲むように回遊性を持たせ、思いがけない場所での出会いや気づきが生まれます。また、グループワーク用の広い研修室、個人作業やリラックスできるスペース、さらにはアウトドアワークショップに対応したエリアなど、幅広いニーズに応える空間構成です。研修参加者同士が空間を共有することで、刺激し合いながら学びを深められるようデザインされています。



多様な過ごし方ができる“ねまるリング”



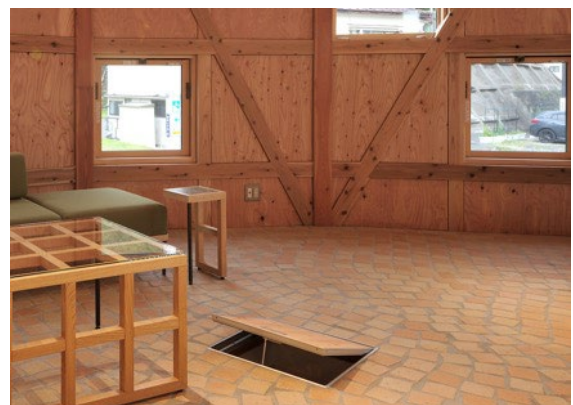
コモンパティオとシンボルツリー

特徴その 2：環境配慮型施設

「NEMARU PORT」は、一人ひとりが“自分にとっての心地よい環境”をつくり出す行動——すなわち「環境行動」を体験し、身につけるための機能を備えています。施設内では温度や明るさを自分で調節できる仕組みを導入し、利用者が自分に合った快適さを探ることで、日常の小さな気づきが自然と生まれます。そして、ここでの体験を持ち帰り、日常生活に取り入れることで日々の行動が少しずつ変わっていく、そんな環境行動の“ハブ”となる施設です。



薪ストーブの煙突熱を利用した熱循環装置



利用者が自由に開閉できる窓と床換気口

特徴その 3 : “釜石らしさ”を随所に感じられるデザイン

「NEMARU PORT」は、地元の文化や資源を生かした“釜石らしさ”を体感できる空間でもあります。地元産の木材や鉄製品、ホタテ・アワビの貝殻（エコマテリアル）を積極的に採用しており、建物の随所から釜石の自然や産業が感じられます。



釜石市産材と地元鉄工所の鉄を使ったソファ&テーブル



釜石のホタテ、アワビの貝殻を入れたコンクリート壁

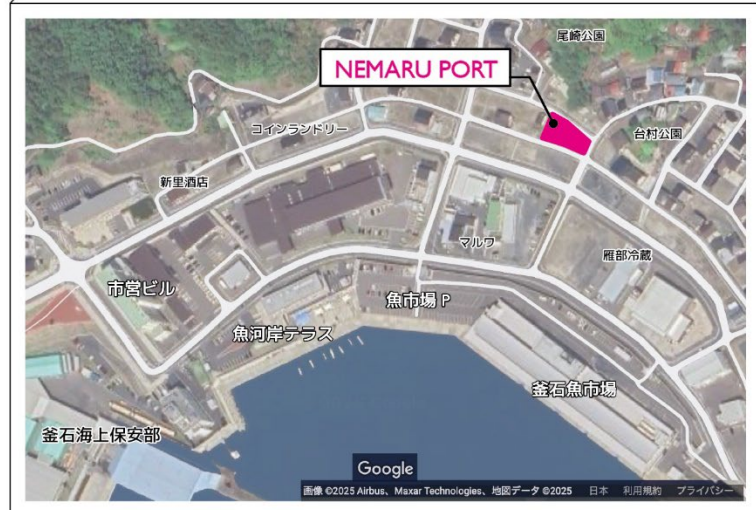
■これまでの取り組みと経緯

2021 年 3 月 26 日、釜石市と、かまいし DMC、ならびに日鉄興和不動産は、地方創生とこれからのワークスタイルの研究・提案を目的として、釜石市におけるワーケーション事業の実施に向けた包括連携協定（以下：「本協定」）を締結しました。同年 10 月には、オカムラが本協定に参画し、4 者連携のもと、釜石市内に「Nemaru Port（現：NEMARU PORT - hanare - （ねまるポート はなれ）」を開設。首都圏のワーカーを主な対象とし、自然体験や地域貢献活動など、釜石ならではの体験や釜石市のさまざまな人・団体を通じたワーケーションプログラムを展開してきました。



■施設概要

- ・施設名称：「NEMARU PORT（ねまるポート）」
- ・所在地：岩手県釜石市浜町2丁目5-15（住居表示）
- ・施設面積：402.09㎡（121.84坪）
- ・施設構成：ワークスペース、個室、研修室、リフレッシュコーナー、キッチン、管理室
- ・営業時間：9:00～22:00
- ・公式HP：<https://workcation.visitkamaishi.jp/>
- ・アクセス：JR釜石駅から車で5分



（参考）

- ・施設名称：「NEMARU PORT – hanare-」
- ・所在地：岩手県釜石市只越町1-1-9（住居表示）
- ・施設面積：36.50㎡（11.0坪）
- ・施設構成：ワークスペース

《参考》

※ 1 2021/3/26 プレスリリース

岩手県釜石市、日鉄興和不動産、かまいし DMC ワークेशन事業実施に向けた包括連携協定を締結

<https://www.nskre.co.jp/company/news/2021/03/20210326.pdf>

※ 2 2021/10/28 プレスリリース

「岩手県釜石市における新たなワークेशन施設「Nemaru Port（ねまるポート）」2021 年 10 月 28 日開業

https://www.okamura.co.jp/corporate/news/_article_images/okamura_release_teiketsu_kamaishi_workcation_20211028.pdf

※ 3 2025/8/1 プレスリリース

「岩手県釜石市における 2 拠点目の人材育成施設「NEMARU PORT（ねまるポート）」を 2025 年 8 月 1 日に新設」

https://www.okamura.co.jp/corporate/news/pdf/20250801/release_kamaishi_nemaruport.pdf